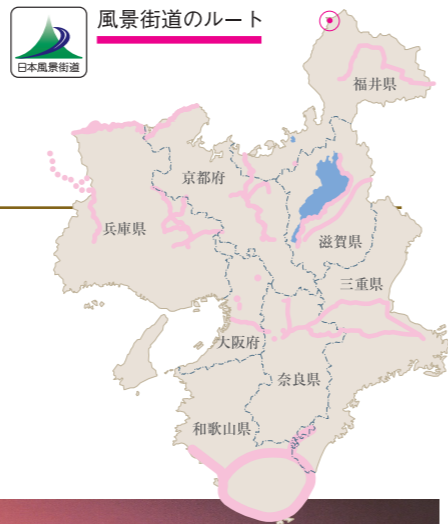




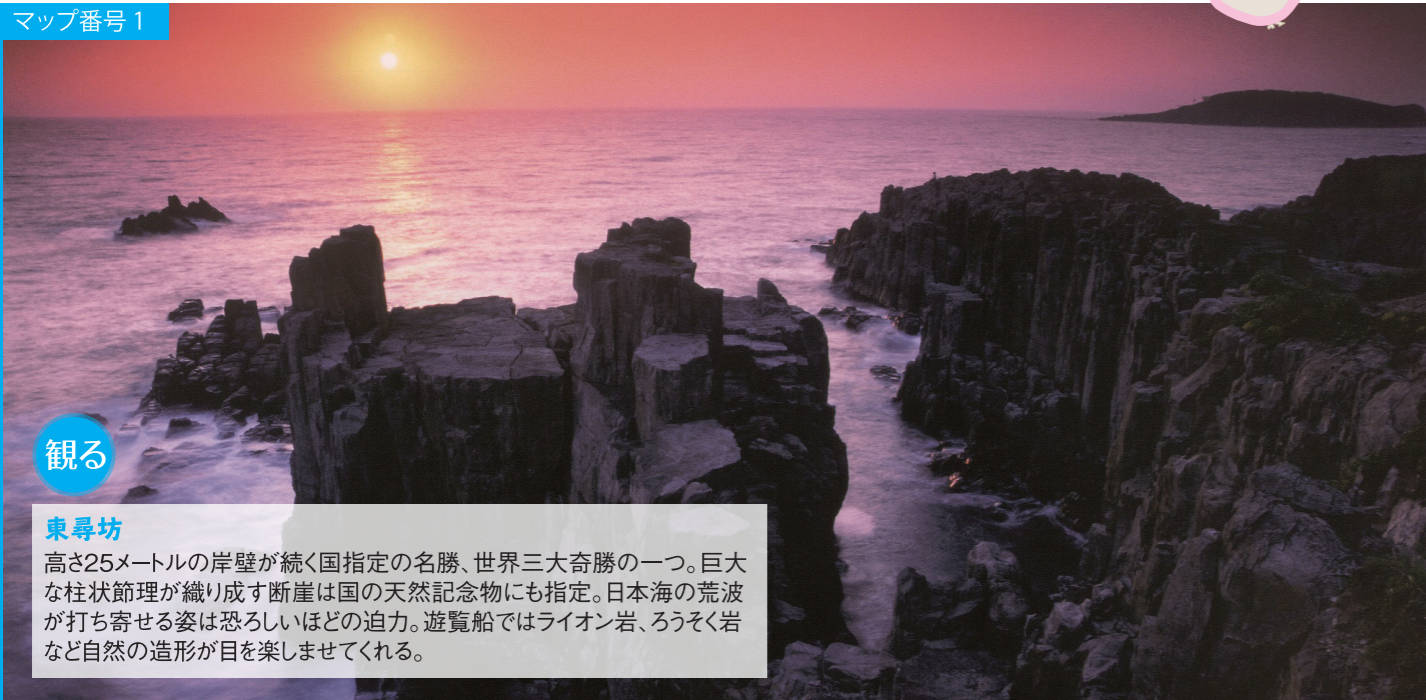
みくにみちと うみ みどり ひと むす
三国湊のまち・海・緑・そして人を結ぶみち

北前船で栄えた港町の息吹と変化に富む風景

北前船の寄港地であった歴史の薫る三国湊旧市街地、東尋坊や雄島などの風光明媚な海岸線の景観、里山の風景など、多彩で変化に富むルート。このルート全体を“三国湊”と呼んでいます。日本海の荒波をやわらげる国の重要文化財の突堤がある三国港、明治や大正時代の洋館や白壁の蔵と日本家屋のまちなみなど、ドライブのほか、自転車や歩いても楽しめます。



マップ番号 1



観る

東尋坊

高さ25メートルの岸壁が続く国指定の名勝、世界三大奇勝の一つ。巨大な柱状節理が織り成す断崖は国の天然記念物にも指定。日本海の荒波が打ち寄せる姿は恐ろしいほどの迫力。遊覧船ではライオン岩、ろうそく岩など自然の造形が目を楽ませしてくれる。



マップ番号 11



食す

三国湊座

三国湊町散策、クルージングなどの町中ツーリストセンターで、食堂や甘味処として、また、三国の名産品を販売しているほか芝居やパフォーマンスライブ、文化イベントなどを開催。福井県産ビーフや特産品のラッキョウでつくご当地グルメ三国バーガーは絶品。

活動・取り組みの紹介

楽しめる三国湊の環境をつくり、まちへの愛着を育むための第一段階として、海岸と歴史的町並の残る旧市街地との連携を促し、多彩で魅力的な風景の展開を体験できる海上クルージングや回遊ルートネットワークの形成、さらに旧市街地の賑わい創出に向けて取り組んでいます。

● お問い合わせ先

一般社団法人 三国會所
メールアドレス: mikunikaisyo@gmail.com



坂井市三国観光協会 三国探索マップ

マップ番号 2



観る 春

雄島祭

毎年4月20日に行われ、一年の無事と大漁を願う祭り。朱塗りの欄干がひととき美しい雄島橋には、数百の鯉のぼりが日本海の風にたなびき、祭りの見どころのひとつ。一番の見どころは、船みこしと乙女みこしが海に入るシーン。みこしは海の中に若衆共々入り対岸まで泳いで渡る。地元の人々の心意気を今に伝える祭り。

マップ番号 3



観る 夏

三国湊 帯のまち流し

『帯の幅ほどある町』というフレーズは、帯のように幅は狭いが、横に長いという昔からの町並みから名づけられている。北陸三大民謡の一つ三国節を情緒豊かに街中で踊り流すので、三国湊に初秋の到来を告げる風物詩となっている。

マップ番号 4



観る

三国大花火

北陸最大級の大火花大会。一万発の花火が真夏の夜空を美しく染める。中でも水中花火はいまや三国湊の名物となっている。

マップ番号 5



観る

瀧谷寺

四季を通じて自然の美しいたたずまいを見せる瀧谷寺は、1375年に創建された三国町最古の真言宗智山派のお寺。国宝や重要文化財も多く、昭和4年に日本名勝庭園の一つとして、文部省より県下最初の指定を受けた山水型庭園は、いつまで見ても飽きない美しさ。

マップ番号 6



観る

三国湊 さたまえ通り

情緒ある格子戸が連なる宮太旅館、豪商の面影を今に伝える旧岸名家。大正ロマンを感じさせる旧森田銀行本店…。三国湊町の古い町並には歴史と魅力が溢れている。

マップ番号 7



観る 夏

三国祭

北陸三大祭のひとつとして称せられ、毎年5月19日～21日にかけておこなわれる。10数万の参拝者で街中がにぎわい神輿二基、武者人形山車六基がねり歩く。500軒余り立並ぶ露天商の中、面かじ、取りかじの聲をあげ、250年の歴史を刻む神輿と山車の巡幸は夜9時ごろまで続く。

マップ番号 8



観る

三国神社 隨身門

三国神社は、継体天皇との関係を伝承する古社で、近世には桜谷神社と呼ばれていた。隨身門は、三間一戸桜門形式、入母屋造り、銅板葺の建物です。正面3間(8.18m)、側面2間(4.62m)、棟高12.41mの規模を持ち、桜門としては、県内最大級の規模を有す。笏谷石基壇上に礎石を置き、円柱を建て、これを下層では三段の貫で、上層では長押と貫で固めている。金具に代えて彩色付薄板を貼り付けている点が珍しい。附指定の文書から、元治元年(1864)に新始を行い、明治3年(1870)に竣工したこと、棟梁は森町大工安右衛門であることなどが分かっている。

マップ番号 9



観る

掛け花入れ

来る人々を歓迎する心を込めて各家が飾る。

マップ番号 10



遊ぶ

三国湊レンタサイクル

北前船時代の町家や洋館、細い路地が残るノスタルジックな湊町・三国。高台や海沿いから眺める海景も最高。海の幸や甘味のお店に寄り道しながらゆかしい街を巡ってみましょう。

マップ番号 11



遊ぶ

帯の幅ほど三国湊

帯のように幅は狭いが、横に長い昔からの町並みは、北前船が三国湊に行き来していた頃から、九頭竜川河口付近に沿って大変賑わっていた名残が今も受け継がれている。歴史的建造物多数の町並みを、三国探索マップを片手に散策してみませんか。レンタサイクルも乗り捨て可能で充実。

マップ番号 12



食す 冬

越前かに

冬の味覚の王者、越前かに。雄をズワイ、雌をセイコと呼ぶ。沖合いに生息。越前の漁師たちは底引き網で漁獲し、冷凍せずに捕れたままの状態を持ち帰り、市場で競りにかけ、福井・金沢はもとより大阪方面などへも出荷される。味は極めて美味で茹で上げて二杯酢にして賞味するのがポピュラーだが「洗い」「焼かじ」「かにすき」「かに飯」「甲羅焼き」などいろいろな料理方法がある。冬の間、関西地方などから、かにを食しに、三国～越前海岸を訪れる人も多い。

マップ番号 13



食す

カフェタブノキ

名前の由来になった店の近くにある樹齢250年のタブノキが目印。一杯一杯丁寧にしてくれるこだわりコーヒーは、さっぱりとしていて飲みやすく、めずらしいぎよ角砂糖をいれるとほのかにこくがでて違う味わいに。コーヒーにあうスイーツたちは、手づくりで甘すぎずベロリといける。

道の駅「みくに」

三年子花らっきょを中心に地元の食材を使った手作りのお漬物や煎餅、野菜・果物等の直売。レストランでは花らっきょラーメンが人気。

福井県坂井市三国町山岸67-3-1 (TEL:0776-82-3339)



道の駅「蓮如の里あわら」(R5.4 開駅予定)

福地鶏を使った卵かけごはんや、北湯産のウナギを使った秋冬限定の料理など、地の物をふんだんに使ったメニューが人気。

福井県あわら市吉崎1丁目801番地